

講演申込登録および原稿作成・提出の詳細要領

- * 投稿者各位の原稿作成ならびに原稿提出の利便性を考慮し、講演原稿の PDF 送付を可能としております。
- * 原稿作成ならびに原稿提出にあたり以下の要領を熟読賜りますようお願い申し上げます。
特に、論文 は、従来どおり大会論文投稿と同時に、希望により論文誌 B 平成 16 年 12 月号「B 部門大会特集号」への同時投稿として査読を実施いたします。
この場合、電気学会論文誌投稿手引 (<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>) に従った提出書類(「論文原稿」、「論文投稿票」、「和文論文要旨」、「Extended Summary」および「著作権譲渡書」)のすべてを大会論文投稿時に提出する必要があります。電気学会論文誌投稿手引に従ったすべての提出書類が同時提出されない論文 につきましては、「B 部門大会特集号」への同時投稿論文としては受けつけられませんので、十分ご注意ください。
また、当該の論文が査読を経て論文誌 B に掲載された場合には、電気学会論文誌投稿手引記載の所定の掲載別刷代が必要となります。

1. 必要書類

【インターネット講演申込登録要領】

1. 電気学会電力・エネルギー部門のホームページ(<http://www.iee.or.jp/pes/>)を、Internet Explorer 5.0 以降(6.0 以降を推奨)、又は Netscape Navigator 4.7 以降(6.0 以降を推奨)を利用して開きます。
2. 「部門大会のお知らせ」に進み、「平成 16 年電気学会電力・エネルギー部門大会講演申込」を選択します。すると、講演申込の画面が表示されますので、“新規登録”を選択します。
3. 会員番号欄に電気学会(又は協賛学会)の会員番号(半角)を入力します。電気学会に入会手続中の場合は、会員番号を 0099999(半角)とします。
4. 登録画面が表示されますので、「入力例を見る」を参考に画面中の指示や例に従い、必要情報を入力します。使用できる文字や特殊表記等は、[付記]を参照して下さい。
5. 全て入力したら、「次へ」をクリックします。ここまでの入力内容の確認画面が表示されます。修正がある場合は前の画面に戻って修正します。登録内容の確認・修正ができましたら、「登録ボタン」をクリックします。
6. 登録が正常に受け付けられると、登録受理票が表示され、「受付番号」と「登録済内容にアクセスするためのパスワード」が発行されます。(この時点で、登録確認メールが発信されます。)登録受理票は、今後の登録内容の確認・修正や原稿の提出(送付)のときに必要ですので、画面をプリントアウトにより必ず保管して下さい。
7. 電子メールの受信を必ず確認して下さい。24 時間以内に電子メールが届かない場合は、ホームページ内にある FAQ をご確認ください。

【講演原稿PDF送信】

1. トップメニューから“講演原稿PDF原稿送信”を選んで下さい。
2. 上記講演申込時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力して、「次へ」をクリックして下さい。
3. 「参照」ボタンをクリックして、対象のファイルを指定し、送信ボタンをクリックして下さい。
注：論文誌 B 特集号への同時投稿希望の方は本文の後に「論文投稿票」「和文論文要旨」「Extended Summary」を一つの PDF にして送信して下さい。
提出書類に不足がある場合受付られませんのご注意下さい。
4. ファイル指定欄には、直接ファイル名を入力しないで、必ず「参照」ボタンをクリックして選んで下さい。
5. 送信が正常に終了すると、受付終了画面が表示されます。
6. 送信が正常に終了すると、電子メールでも送信結果が配信されます。
<注意事項>
1: ファイルサイズが 2 MB を超えるファイルは送信することができません。

- 2: PDF送信は、必ず講演申込の手続きを済ませてから行って下さい。
- 3: PDFファイルにはセキュリティ設定をかけないで下さい。
- 4: 必ず拡張子(****.PDF)が付いたファイルを送信して下さい。
- 5: ファイル名やディレクトリー名は、英数または日本語のみを使用して下さい。
半角カタカナ、スペース、ピリオド、スラッシュ、半角の記号
(¥,%,&,",#,\$,)などを含まないで下さい。

Windowsの場合、デスクトップに置いたPDFは送信されないことがあります。

Windowsの場合、My Documentに置いたPDFは送信されないことがあります。

- 6: 複数の申込がある場合でも、それぞれ発行された受付番号に対応するファイルをお送り下さい。
- 7: 送信されたPDFファイルは、セキュリティー上閲覧することができませんので、必ず受付終了画面が表示されることと、画面内に表示されているファイルサイズをご確認下さい。
- 8: 締切までに予稿集PDF原稿が送信されていない場合は、取り下げとします。

【PDFファイルの差し替え】

一度送信された講演原稿PDFは、「大会論文に限り」受付期間中は差し替えることができます。(ただし、「論文誌B特集号への同時投稿原稿」については、一度お送りいただいた原稿の差し替えはできませんのでご注意下さい。

“講演原稿PDF送信”と同様の手順で送信して下さい。

新たに送信されたファイルは元のファイルに上書きされます。

差し替えとして送信されるファイル名は、以前に送られたファイル名と異なっても構いませんが、拡張子(.pdfまたは.PDF)を必ず付けて下さい。

【講演申込内容の確認・修正・取消要領】

登録済の講演申込内容は、受付期間中は確認・修正・取消が可能です。

1. 「平成16年電気学会電力・エネルギー部門大会講演申込」の画面から、“確認・修正”又は“取消”を選択します。
2. 新規登録時と同様に大会コードと会員番号を入力します。
3. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力します。
4. 登録されている内容が表示されます。修正の場合は下の修正ボタンをクリック、必要に応じて修正して下さい。修正した場合には「登録ボタン」をクリックします。修正登録後、再度メールが配信されます。取消の場合は下の「取消ボタン」をクリックします。

【講演原稿を紙面で申込の場合】

予稿集原稿を紙面で投稿される方も、インターネットによる講演申込を行っていただき、登録完了画面をプリントアウトしたものを、原稿の一番前に添付して、送付して下さい。

【原稿作成要領】

電力・エネルギー部門大会ホームページの「原稿の書き方テンプレート」(<http://secure.gakkai-web.net/gakkai/pes/template/index.html>)を参照しながら執筆下さい。

さらに詳細には、「電気学会部門誌への投稿手引き」中の「原稿作成手引き」をご参照ください。なお、最新の原稿作成手引きは電気学会のホームページ(<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>)にも掲載されています。

1. 原稿用紙

任意の白色のA4版用紙を使用し、余白を上25mm、下24mm、左右各16mm設けて下さい。

ワードプロセッサなどを利用する場合は、9ポイント(13級)の文字を用い、字数は片段1行当たり26字、片段50行、2段組、段の間隔は10mmとして下さい。

2. 分量

論文 は図面，写真などを含めて 1 件 6 ページ以内を原則と致します。6 ページを超過する場合は著者には超過分の費用をご負担頂きますが，その場合も 14 ページを上限と致します。大会論文集の超過ページ費用は，1 ページ当たり 5,000 円と致します。

論文 は 2 ページ以内を厳守下さい。(字数は，1 枚当り 26 字×50 行×2 段 = 2,600 字程度)

3 . 文字の色 (紙面原稿の場合)

墨または黒インクでお書きください。タイプライタやワードプロセッサの場合も濃い黒字として下さい。

4 . 配 置

表題などを「見本」に従って ~ の順序で記入後，本文を書き始めて下さい。

以下の説明で「何行目」などとありますのは，1 ページ 26 字×50 行×2 段を想定しております。

表題；40 字以内。1 行分 (20 字以内) の場合は，4 行目中央に記入。21 字以上で 2 行にわたる場合は 4 行目~6 行目の 3 行分の場所に適当に配置して下さい。

会員種別，氏名，(所属)；2 名までは 1 行に横に並べても結構です。3 名以上の場合は複数行にして下さい。

英文による表題，氏名，会員種別，(所属)；左右に 3 字分のスペースを設けて下さい。

著者所属・連絡先は第 1 ページ目左欄の脚注に日本語・英語で併記すること。

英文 Summary；論文 のみ記入。150~200 語で，左右に 2 字分のスペースを設けて記入下さい。

キーワード；論文 のみ記入。6 個以内で，左右に 2 字分のスペースを設けて記入下さい。

本文；原則として片段 1 行 26 字の 2 段組で記入。下記の順序で整理し，章の見出しのみ 2 行分を取って下さい。

章：1 . 節：1 . 1

文献；文献の表記は原則として英文とし，本文末尾に通し番号をつけて一括記載し，本文中の該当部分には引用番号をつけて下さい。一般に公表されていない文書は文献として挙げないで下さい。文献は，著者名，題目，書名，巻，(号)，ページ，発行年 (月日) を記載下さい。

著者紹介；論文 でそのまま論文誌 B 特集号への掲載を希望される方は，著者紹介 (顔写真と一人 133 字以内の文章) を入れて下さい。なお，「大会論文集」には著者紹介は掲載されません。

5 . 本 文

論文 ， とともに日本語または英語とします。

6 . 文字の大きさ

表題と氏名は見本を参照して大きく書いてください。ワードプロセッサの場合は，1 項をご参照下さい。

7 . 図及び表

原稿用紙に墨または黒インクで直接記入，ないし白または青色の方眼紙に書いたものを貼り付けても結構です (紙面原稿の場合)。

幅は 10cm (片段) 分が基準ですが，特に重要な結果を示す図は最大 20cm (両段) 以内で描いても結構です。

図表中の文字は原則として英語とし，表題は和英両語で次のとおり記載すること。また，英文論文の場合は英語のみとする。

図 1 . 表 1 .
Fig.1 Table 1. とし，

それぞれ図の下，表の上に記載。図，表の番号は，それぞれの通し番号とする。

図を貼り付ける場合は，全体にのりづけせず裏面 4 辺にのりづけする。特に写真の場合は，裏面に天地を記入下さい。

【原稿提出要領】

* 論文 は，大会論文投稿と同時に，希望により論文誌 B 平成 16 年 12 月号「B 部門大会特集号」への同時投稿として査読を実施いたします。この場合，電気学会論文誌投稿手引 (<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>) に従った提出書類 (「論文原稿」，「論文投稿票」，「和文論文要旨」，「Extended Summary」および「著作権譲渡書」) のすべてを大会論文投稿時に提出する必要があります。電気学会論文誌投稿手引に従ったすべての提出書類が同時提出されない論

文につきましては、「B部門大会特集号」への同時投稿論文としては受けつけられませんので、十分ご注意ください。

1. 必要書類

(講演原稿 PDF 送信の場合)

前出の【講演原稿PDF送信】に従いお送り下さい。

なお、「論文誌B特集号への同時投稿希望」の方は、本文の後に「論文投稿票」「和文論文要旨」「Extended Summary」を一つのPDFにして、前出の【講演原稿PDF送信】に従いお送り下さい。「著作権譲渡書」については、署名捺印後、次へ郵送をお願いします。

〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 Homat Horizonビル8階

電気学会 事業サービス第2課 電力・エネルギー部門大会 論文誌B同時投稿担当

また、フォーマットはテンプレートをご利用下さい。

(講演原稿を紙面で申込の場合)

論文 論文 は、原紙1部+A4版コピー2部の合計3部。論文 は、原紙1部+A4版コピー2部の合計3部。

なお、論文 で論文誌B特集号への同時投稿の場合は、更に次を追加提出して下さい。

- 1) 論文投稿票1部
- 2) 本文3部
- 3) 和文論文要旨3部
- 4) Extended Summary 3部
- 5) 著作権譲渡書1部

登録受理票 インターネットで講演申込を行った際に表示される登録受理票のハードコピーに、投稿論文の著作権譲渡に関する必要事項をご記入下さい。

2. 著作権譲渡書および紙面原稿送付先

〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 Homat Horizonビル8階

電気学会 事業サービス第2課 電力・エネルギー部門大会担当

電話：03-3221-7313

e-mail：pes16@iee.or.jp

3. システムに関する問合せ先

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-8 アクサルビル2F

トーヨー企画株式会社 電気学会 電力・エネルギー部門大会担当

e-mail：pes@gakkai-web.net

電話 03-3262-6605

4. 原稿の返却

送付いただきました原稿は、不採択の場合を除き返送致しません。ご了承下さい。

【電子投稿用予稿集原稿について】

原稿の書き方については、上述の原稿作成要領を参照して下さい。

PDFファイル作成にあたって

A) ファイル形式

電子原稿は、Adobe Acrobat Reader4.0以上で表示または印刷可能なPDF (Portable Document Format) ファイルで提出して下さい。

B) ファイルサイズ (容量) の制限

ファイルサイズは、2MB以内として下さい。2MBを超えると送信できません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないで下さい。

C) ファイル名について

必ず拡張子 (.pdfまたはPDF) が付いているファイルをお送り下さい。

D) 作成するアプリケーションとOS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OSはWindows98以上またはMacintosh 8.6以上を推奨します。

E) PDFファイルの作成方法

PDFファイルは、原則としてAcrobat 4.0以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法については付属のマニュアルまたはWEB上の作成方法をご覧ください。

Acrobat の詳細については<http://www.adobe.co.jp>をご覧ください。

F) 使用できるフォントの制限

原稿内に使用するフォントは以下に限定して下さい。

	Windows	Macintosh(OS 9.2.2以前)
日本語フォント	MS明朝またはMSゴシック	細明朝または中ゴシック 平成明朝または平成角ゴシック
英字フォント	Century , Times, Times New Roman, Helvetica, Arial, Symbol	

どうしても他の書体を使用したい場合は、フォントの埋め込みを行って下さい。

Macintosh OSXをお使いの場合はMS明朝，MSゴシック，ヒラギノをお使い下さい。

G) 使用できる文字

コンピュータの機種により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使い下さい。特にMacintosh をお使いの方はローマ数字や丸付き数字などの特殊記号については必ずJISコードをご利用下さい。

H) 色使い

文字も含め、色使いの制限は特にありません。ただしモノクロプリンタで出力したものを印刷原稿として利用しますので、色によっては明確に出ない場合がありますので十分注意して下さい。

I) 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成して下さい。

J) 必ずAcrobat Distillerを使って作成してください。特にイラストや画像、数式、グラフ等を含むPDFファイルの作成はPDF Writerを使用しないで下さい。

出来上がったPDFファイルは必ずプリントし、問題がないか確認してから送信下さい。

(参考) 今後のスケジュール予定

論文 : 4月下旬 採否決定, 5月上旬 採否通知, 6月上旬 修正原稿受付締切

5月号: 大会参加申込要領掲載

論文誌 B 6月号: 大会セッション日程表掲載

論文誌 B 7月号: 大会セッション詳細, プログラム速報版掲載

【投稿論文のカテゴリー】

* 講演申込みの際の「投稿論文のカテゴリー」は、下表の技術分野・技術内容からお選び下さい。例えば、技術分野が「電力系統の計画・運用・解析・制御」で、技術内容が「系統計画」の場合は(A・1)となります。

(A) 電力系統の計画・運用・解析・制御 (1) 系統計画 (2) 系統運用 (3) 需要予測 (4) 系統制御 (5) 発電機制御 (6) 安定度解析 (7) FACTS (8) 電圧安定性 (9) 解析・シミュレーション技術 (10) 潮流解析・最適潮流計算 (11) 配電システム (12) 配電方式 (13) 直流送電 (14) 系統保護制御 (15) 配電保護制御 (16) 機器保護 (17) 運用・保守技術 (18) その他関連事項
(B) 電力自由化 (1) 制度設計 (2) 電力市場の設計・解析 (3) 自由化環境下の計画・運用 (4) アンシラリーサービス (5) 電力市場の経済分析 (6) その他関連事項
(C) 分散型電源 (1) 太陽光発電 (2) 燃料電池 (3) 風力発電 (4) 電力貯蔵設備 (5) 新電力供給システム (6) 運用・解析 (7) エネルギーフロー (8) その他関連事項
(D) 電力用機器 (1) 発電機 (2) 配電用機器 (3) 変圧器 (4) 遮断器 (5) 限流器 (6) 避雷器 (7) 超電導機器 (8) GIS (9) がいし (10) 高分子がいし (11) 監視・診断装置, センサ (12) 寿命予測 (13) 送電線 (14) 電力ケーブル (15) 大容量送電 (16) 電力用コンデンサ (17) その他関連事項
(E) 高電圧・絶縁現象・絶縁材料 (1) 高電圧測定 (2) 雷 (3) 雷対策 (4) サージ現象 (5) サージ解析 (6) 遮断アーク (7) アーク現象 (8) 絶縁材料 (9) 混合ガス (10) 電界・磁界・電磁界解析ならびにシミュレーション (11) その他関連事項
(F) 省エネルギー・環境・代替エネルギー (1) RPS (2) 省エネルギー (3) リサイクル (4) 地域環境対策 (5) 地球環境対策 (6) 地熱発電 (7) 波力発電 (8) メタンハイドレート (9) 核融合 (10) その他関連事項
(G) エネルギー利用技術・エネルギー品質 (1) 新たな電気利用技術 (2) 供給形態の多様化・最適化 (3) 電力品質 (4) 高調波対策 (5) 瞬停対策 (6) その他関連事項
(H) 国際競争力向上のための技術開発 (1) 海外市場調査・分析 (2) 産学連携技術開発 (3) 低信頼度地域向け技術開発 (4) その他関連事項

【電力・エネルギー部門誌の掲載内容の分類】

* 論文 のうち論文誌 B への掲載を希望される方は、講演申込登録の際に、「論文誌の掲載内容の分類」を下表の中からお選びください。なお、上表の希望セッションとは名称が異なりますので御注意下さい。

* 論文誌 B への掲載を希望しない論文 および論文 の方は必要がございません。

<p>< 電力システム ></p> <p>b101: 電力系統計画・運用 b102: 電力系統制御 b103: 系統解析・シミュレーション b104: 系統保護 b105: 系統監視・制御システム b106: エネルギーシステム</p>	<p>< エネルギー変換・輸送 ></p> <p>b201: 送配電線・電力ケーブル b202: 送配電機器, がいし b203: 開閉保護装置, 避雷器, アーク現象 b204: 変電機器 b205: 超電導機器 b206: 高電圧・雷・サージ b207: エネルギー変換・貯蔵装置 b208: その他電力用機器</p>
--	---

【投稿論文の著作権について】

当大会論文集および論文誌に掲載される論文については、著者全員は、「電気学会論文誌への投稿の手引」の著作権・出版権に関する記述をご理解の上、以下の諸項にご同意願います。

(1) 著作権の電気学会への譲渡。電子メディア化する権利、翻訳権、翻案権、二次的著作物の利用権を

含む。

(2) 論文 への投稿論文に関しては、過去に公開されたことが無く、本質的な類似性を持つものも公開されたことが無く、かつ電気学会以外の出版物への公開を予定していないこと。

注：電気学会大会論文，研究会などの本学会主催の公開技術会合で発表されたものは本項の制約とはならない。

(3) 他の著作物の著作権を侵害していないこと。および，著作権許諾が必要な引用については無償での転載許諾を書面で得ていること。

(4) 内容に本質的な貢献を行った人は全て著者に含まれていること。

(5) 必要な場合には著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。なお，本書によって著作権の譲渡を行っても，以下の権利は著者の手元に残るものとする。

* 著作権以外の例えば特許権のような権利

* 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること

* 著者が営利を目的とせずに行う複写（例えば教育資料としての使用）

* その他，日本の著作権法に反しない利用